

2022年3月28日

2021年度（令和3年度）  
第2回 中国地区英語教育学会 理事会 議事録

日時：2022（令和4）年3月28日（月）18：00～19：15

場所：Zoom ミーティングによるオンライン会議

○出席者：高橋俊章（会長）、猫田英伸（副会長）、大谷みどり、篠村恭子、小山尚史、竹野純一郎、樋口慎一、西原貴之、堂鼻康晴、岩中貴裕、千菊基司、猫田和明（事務局）

○欠席者：山口一成、山根正樹（副会長）

理事会に先立ち、高橋会長より挨拶があった。

【協議事項】

1. 第53回中国地区英語教育学会（岡山大会）について [資料1]

岡山県の小山理事（岡山大学）より [資料1] に基づいて、日程、実施方法、大会案内の案について説明があり、審議の結果、原案の通り承認された。費用については、ウェビナーの仕様変更等により、昨年よりやや値段が上がる可能性が高いが、今後、サポート業者と相談しながら進めていくことになった。

□ 資料1：第53回中国地区英語教育学会・研究発表会のご案内 [A4 1枚]

2. 第54回中国地区英語教育学会について

大会担当地区のローテーションに基づいて、2023年度の大会は広島県理事で検討していただくことになった。6月の理事会・総会までに日程と会場を提案していただくことになった。

3. 学会誌編集委員会からの提案

篠村学会誌編集委員長から、[資料2]～[資料6]に基づいて提案がなされ、審議が行われた。その結果、各事項について以下の通りにすることが確認された。

(1) 「CASELERS 申し合わせ事項」の修正案 [資料2]

→ 採択基準の修正、文言の整理・修正について、原案通り承認された。

(2) HP 公開用の「CASSELERS 運用規定」の修正案 [資料3]

→ 文言の整理・修正について、原案通り承認された。6月総会の協議事項となる。

(3) J-Stage の利用規約の改正にかかる「抄録」の第三者利用について [資料4]

→ 原案に一部修正を加え、不特定多数の第三者に抄録の自由利用を許諾することが承認された。また、特定の業者名を使わず、「データ管理を委託している業者」に修正する。修正したものを6月総会の報告資料とする。

(4) 『中国地区英語教育学会誌』第52号の学会賞候補の提案について [資料5]

→ 原案の通り承認された。受賞者の発表は、6月理事会及び総会で行う。

(5)「学会賞・新人奨励賞に関する申し合わせ」の修正案 [資料6]

→ 文言の整理・修正について、原案通り承認された。6月総会の報告事項となる。

- 資料2：中国地区英語教育学会理事会 「CASELERS 申し合わせ事項」 修正案 [A4 3枚]
- 資料3：Grant-in-aid for CASELE Researchers 運用規定（修正案）[A4 3枚]
- 資料4：J-STAGE の利用規約の改正にかかる「抄録」の第三者利用について（案）[A4 2枚]
- 資料5：学会賞候補の選出に関するご提案 [A4 2枚]
- 資料6：学会賞・新人奨励賞の「申し合わせ」の一部修正（案）[A4 1枚]

#### 4. 2022年度役員（修正案）について [資料7]

高橋会長より、[資料7]に基づいて、2022年度役員 of 修正案について、役員の所属変更、学会誌編集・査読委員の一部交代、全国英語教育学会紀要編集委員の交代に関わる提案があり、原案通り承認された。これは6月総会の報告事項となる。なお、所属の変更があれば4月以降に修正したものを資料として提示する。

- 資料7：中国地区英語教育学会役員（修正案）（2022年度）[A4 2枚]

#### 5. 2023-2024年度役員（案）について [資料8]

高橋会長より[資料8]に基づいて、2023年度役員（案）について提示があり、今後、一部後任の追加があり得ることを含めて、この案を6月の総会で諮ることが承認された。なお、所属の変更があれば4月以降に修正したものを資料として提示する。

- 資料8：中国地区英語教育学会役員（案）（2023年度～2024年度）[A4 2枚]

#### 6. 学会誌掲載料について

高橋会長より、学会誌掲載料の見直しを検討することについて提案があり、今後、具体的な案を編集委員会で検討してもらうことになった。

#### 7. その他

特になし

#### 【報告事項】

##### 1. 2021年度 CASELERS について [資料9]

篠村学会誌編集委員長から、2021年度のCASELERSの募集結果については、「採択なし」であることが報告された。

- 資料9：2021年度 CASELERS について（報告）[A4 1枚]

## 2. 全国英語教育学会の日程及びフォーラム担当者について

[資料 10]

猫田事務局長より、[資料 10]に基づいて、2022 年度の全国英語教育学会の日程及び課題研究フォーラム（2 年目）担当者について、報告があった。また、2023 年度に向けては、授業研究フォーラムの担当者を決定する必要があることが報告され、意見交換の結果、千菊理事（広島大学附属福山中・高等学校）に担当者のお一人になっていただくことになった。フォーラム登壇者の人数に規定はないため、自由にメンバーと内容を構成してよいことが確認された。

□ 資料 10：全国英語教育学会の日程及びフォーラム担当者について [A4 1 枚]

## 3. その他

特になし